

2017年度・デンマークに学ぶ 社会福祉（幼児教育&高齢者）研修の旅

＜期間＞2017年8月26日(土)～9月3日(日) <7泊9日>



＜現地活動費＞ 328,000円
(航空券は含みません)
※ご希望の方には航空の手配も致します。
＜募集人員＞ 20名
＜視察実施人員＞15名、職員同行)
＜訪問都市＞ デンマーク・ロスキレ市
※一人部屋追加料金は48,000円。
※参加費の他に高齢者委員会や福祉施設のみなさんとの交流会、お土産等共通費として、別途8,000円必要になります

日	ひにち	活動内容	食
1	08月26日(土)	デンマーク空港に16時までに集合。※ひの社会教育センター職員もこの日に出発予定ですので、よろしかったら一緒にどうぞ。 (SK984便 11:40発 スカンジナビア航空 16:05着) (宿泊は全てダンホステルの予定)	機 F B L F
2	08月27日(日)	★レクチャー『デンマーク福祉一般事情/高齢者』(澤渡夏代ブランド) 午後からはフリータイム(コペンハーゲンミニ散策・夜のチボリ公園)	B L F
3	08月28日(月)	★ 高齢者ケアセンターアスタースパイ(認知症特養)訪問 * 認知症ケアの紹介。* デイサービス&入居者棟の訪問 ★ 特別養護老人ホーム。または★保育園訪問 (夜)レクチャー:『デンマークの子育て事情』(澤渡夏代ブランド)	B L D
4	08月29日(火)	★障がい者アクティビティ&トレーニングセンター(含:授産施設) ★ロスキレ総合保育園への訪問とレクチャー(0~6歳児) (子どもの日常を視察及び園長先生のお話を伺う&質問)	B L F
5	08月30日(水)	★終日フリータイム ＜コペン・チボリ公園又はアンデルセンの故郷オーデンセ等＞	B F F
6	08月31日(木)	★森の幼稚園または自然保育園訪問 ★高齢者ケアセンター(一般特養)・高齢者住宅訪問 (レクチャー及び視察・交流)	B L D
7	09月01日(金)	★精神疾患患者プライエムソルバング訪問。Solvangにて昼食 ★ロスキレ市補助器具センター訪問 (補助器具がどのように提供されているかのレクチャーと体験) ★デンマーク&日本交流会	B L F
8	09月02日(土)	☆午前中振り返りの後ホテル出発、コペンハーゲン空港へ。 ※帰国便 SK983(15:45発) 成田直行便で帰りますのでよろしかったらごいっよにどうぞ。	B F 機
9	09月03日(日)	☆成田着 税関通過後解散。お疲れ様でした。	機 機

＜このツアーの特徴＞

※この事業はロスキレ市の全面的なご支援をいただいで実施しています。また、ロスキレ市に腰を据えて活動をしますので、町の様子や雰囲を十分に味わうことができます。
※朝の散歩など町の散策も積極的に行ないます。
※参加者全員参加による報告集を作成致しますので御協力ください。

＜高齢者、障害者施設＞

プライバシーや自己決定が大切にされており、一人一人の今までの生活の延長線上の暮らしとしての施設という印象でそれぞれの人の部屋に各人の個性や今までの人生や趣味嗜好が表れていた。
入居者も自分の着たい服を着て、好きな本や、たばこ、音楽や絵画を楽しんでいた。
幼いころから、自分はどうしたいのか自分で決めて行動し、何が好きなのかを気づき、極められるような機会が提供されている。そのためには将来社会で働くことを見据えた教育という一貫性があり、それは生涯の生き方につながっている。

＜総合保育園訪問＞

総合保育園フライヤスヘーブは3歳から6歳まで44名、乳児から3歳までが24名の計68名の園児がおり、保育士が15名、調理担当が1名、園長が1名です。
園庭はまるで森の様に木々がたくさん植えられていて、その中に入ると木々のトンネルをくねくねとぐり子ども達が小さなグループで遊んでいたりと、秘密基地でも作る事ができそうな遊び場があります。
日本のように各個人の連絡帳はなく、各クラスごとの連絡簿が用意され、その日に何をやったか、今日は誰の誕生日といったことが書かれていて、保護者自身がそれを確認する仕組みになっています。それは登園、退園も同じ仕組みになっていて保育者が一人ずつ確認するのではなく、迎えに来た保護者から出席簿に印を付けていくということです。
そして、施設は建築科の学生と建設会社のコラボレーションで設計されており、その案をもとに市の予算と相談の上建てられていました。

※交通機関や現地の事情により実施日や視察・研修の内容が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※事前の説明会にはできるだけご参加ください。
※過去の視察のまとめを一部ホームページで紹介しています、是非御覧ください。
※往復の航空券はこちらでも手配できますので、是非ご利用ください。
※食事 (B:朝食、L:昼食、D:夕食、F:自由食、機:機内食)(軽:軽食)

企画：デンマーク社会福祉交流企画
澤渡夏代 Brandt(現地セミナーリーダー)
中能孝則(nakayoku takanori) 元日野社会教育センター館長
申し込み・問い合わせ先 連絡先:090-5558-1440
協力：公益財団法人社会教育協会 ひの社会教育センター
電話 042-582-3136 (この電話番号でもつながります)
〒191-0062 東京都日野市多摩平 4-3

「デンマークからのメッセージ」

(現地セミナーリーダー: 沢渡夏代 BRANDT. デンマーク在住)

毎年多くの日本人がヨーロッパを訪れますが、これらの旅行者の皆さんは、100 ボルトと 220 ボルトの電圧の差はちゃんとご存じで、必要とあれば必ず、スーツケースの片隅に変圧器を詰めて来られます。ただ考え方や物の見方の方の変圧器を忘れずに持参される方は、どうも少ないようです。

つまり、大半の方が、220 ボルトの世界のヨーロッパを、100 ボルトの目で見て帰られるのです。これでは、ショウトしないまでもなかなか 220 ボルトの世界の本質までは見えて来ないのではないのでしょうか。

高齢化社会を迎えた日本では、今高齢者福祉問題が大きな社会問題として取り上げられ、国を挙げての福祉制度作りが進んでいます。そのために、福祉先進国デンマークへの関心も高まり、この分野での視察は、近年急上昇で増えています。しかし、福祉の旅と題した旅行の中には、全日程の内で1日ないし2日程度の視察で、デンマークの福祉を理解したような雰囲気になる旅も少なくありません。一方、ひの社会教育センターが企画している『高齢者福祉視察の旅』は、ロスキレ市に8日間滞在し、じっくりと腰を据えて学ぶと共に、地元の方々とも積極的に交流を深めています。

この姿勢はロスキレ市からも高く評価され、「市としても全力を挙げて協力します」とのお約束をいただいています。お誘い合わせの上是非ご参加下さい。お待ちしております。



私は、この「旅」を推奨します！

「思い立ったが吉日！ 善は急げ！！ 百聞は一見に如かず！！！」

＜あなたもこのチャンスを自分のものにしてください＞

2016年の研修に参加 静岡県島田市
静岡福祉大学3年 中谷 稔

＜思い立ったが吉日！＞

私が、このデンマーク研修の参加を決めたときの気持ちは、まさしくこの諺がピッタリあてはまります。私は 54 才で小学校教師を早期退職し、次なる子どもにかかわる仕事を考えているときに「森のようちえん」に出会いました。「森のようちえん」のルーツを辿り、発祥の地であるデンマークに行ってみたい、子どもの姿を自分の目で確かめたいと思い、「行こう！」と決めたと同時に日野社会教育センターの中能さんに電話をしました。

＜善は急げ！！＞

この諺には「良いと思ったことは、ためらわずにただちに実行するべき」、という意味があります。私の場合、生きて来た年数よりも残された時間の方が少なくなってきたこともあり、ためらうどころではなく少し焦りの気持もあり、「この機会を逃したら一生デンマークに行けなくなってしまう、今しかない！！！」という思いで行って来ました。もちろん、デンマークで過ごした9日間全てが充実していました。さまざまな施設見学だけでなく、出会った人々、ゆったりと流れる時間、朝の散歩、素敵な景色、仲間と語り合った夜など、書ききれないほどの人生の収穫がありました。

＜百聞は一見に如かず！！！！＞

大学で社会福祉を学んでいる自分にとって、今回の研修は、どんなにわかりやすい講義や名著といわれるテキストよりも優るものでした。デンマークでは、誕生祝に「民主主義」がプレゼントされるといわれています。その意味を全身で実感することができました。それだけでなく、「外」から日本を見ることによって、自国の良さや特徴、そして、この先の日本のあり方について自分の足元をじっくり見つめ直すことができました。

人は幾つになっても、「知りたい！ 見たい！！ 行きたい！！！」ときが青春真ただ中です！

★ ★ ★ ★ ★

＜参加に当たって＞

■現地費用に含まれるもの

日程表に記載された、現地での団体行動中の視察、移動のための乗り物料金、オプションを除く観光料金、ツインルーム宿泊料金、サービス料金、日程に記載されている食事代、視察・通訳料金、随行員費用。

■現地費用に含まれないもの

電話代などの個人的費用、現地へのお土産代、現地関係者との交流会の費用、傷害、疾病に関する医療費、シングル部屋の使用料金、飲み物・自由食の代金、フリータイム、オプションの代金。現地までの往復航空券、旅券印紙代、渡航手数料、成田空港をはじめ各地空港施設使用料、航空保安税、日本国内における自宅から成田空港までの交通費。

■申し込み方法

申込書に必要事項をご記入の上、ひの社会教育センターの中能へ申し込んでください。その際申し込み金 ¥30,000 (現地費用に充当) が必要になります。申し込み金をいただい

た時点でこの視察への参加が成立するものといたします。なお、残金は8月末日までに下記の口座へお振込みください。

＜振込先＞

郵貯銀行 普通預金
店番 018 記号 10130
番号 9393154

加入者名: ナカヨク タカノリ

※この銀行からでも振り込むことができます。

■取り消しについての払い戻し

お客様はいつでも次に定める取り消し料をお支払いいただいて今回の契約を解除することができます。

視察開始日の

30 日前～29 日前……参加費の 10%

60 日前～14 日前……参加費の 30%

13 日前～04 日前……参加費の 40%

3 日前～前日 ……参加費の 50%

出発日当日 ……参加費の 100%

■視察の実施人数

参加者が 10 名に達しない場合は今回の視

察を中止することがあります。その場合は、7 月末日までにご通知いたします。

■視察についてのお問い合わせ

この事業は中能孝則(元日野社会教育センター館長)が担当しています。

往復の航空券の手配や、活動内容並びにオプションの相談等がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。

■往復の航空券の手配について

この事業を担当する職員は、現地までの往復航空券を(株)ヴィエック・インターナショナル(VIEC)に手配していただいています。現地空港での手続きなどをスムーズにするためにも、是非ご利用下さい。

ご希望される方は日野社会教育センターまでご一報いただければ航空券の手配をいたします。尚、航空券等に関する諸費用は(株)ヴィエック・インターナショナルより各自のところに請求が参りますので、期日までに納めてください。

(2017年3月3日作成)